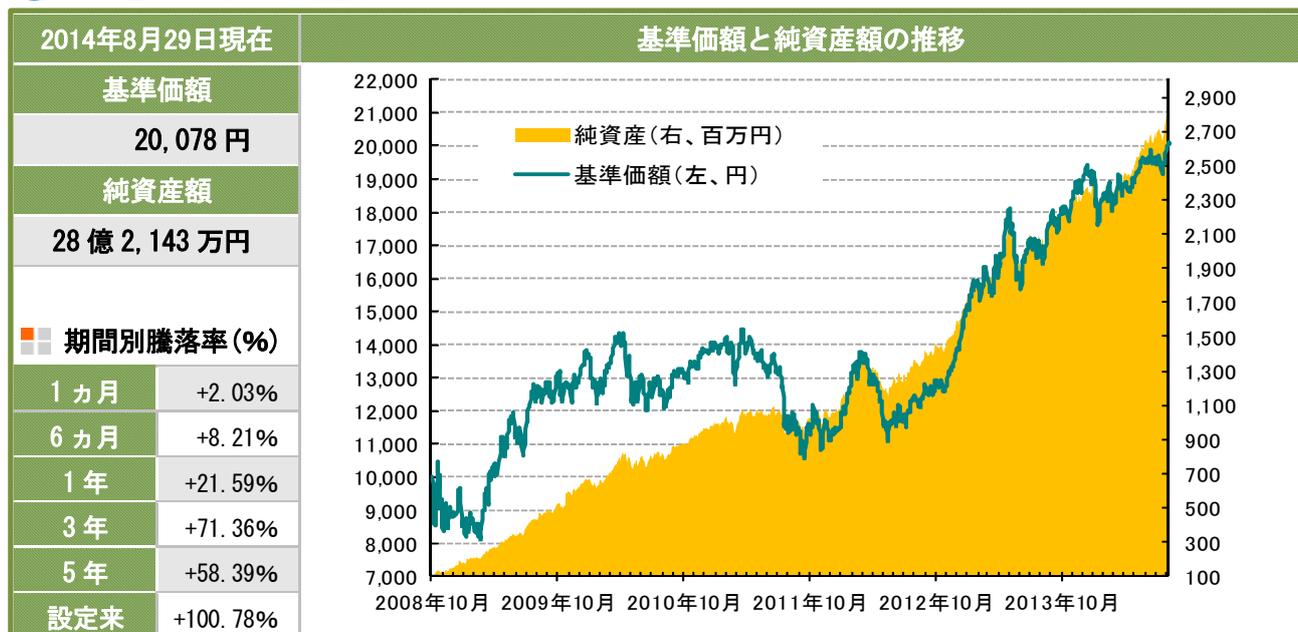




「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2014年9月9日作成)をお届けします。

## 運用状況のご報告

### ユニオンファンド概況



\* 複利年率 +12.63%

\*「複利年率」とは設定から現在まで運用を行った結果、複利で換算した場合に何%でまわっていたかを表したものです。過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また個々の受益者ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

### 組入れファンドの内訳 (組入比率は8/29付け)

ファンド名	主な地域	組入比率	目標投資比率	目標比
さわかみF	日本	10.3%	12%	-1.7%
キャピタルF	欧米	14.3%	18%	-3.7%
ハリスF	欧米	16.6%	23%	-6.4%
コムジエストF	新興国	36.4%	47%	-10.6%
キャッシュ	—	22.5%	—	—

小数点第2位を四捨五入

### ファンドマネージャー コメント

#### 「名目株価」「実質株価」と「円ベース株価」

- ・一口に「株価」と言っても、評価基準によって「株価」は「名目株価」「実質株価」「円ベース株価」などに分けられます。
- ・株式投資のリターンはインフレ(物価上昇)によって目減りします。この目減り分を控除した株価が「実質株価」です。
- ・また日本人投資家が外国株式に投資する場合(ユニオンファンドなどの場合)、「為替」による「差損」「差益」が発生します。これを考慮したものが「円ベース株価」です。
- ・各国の「名目株価」「実質株価」と「円ベース株価」を比較してみました。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## 「株価」比較（名目株価）

図1:先進国……日本、米国、ドイツ

図2:新興国①……株価好調国(アルゼンチン、インドネシア、インド、南ア)

図3:新興国②……株価不調国(ブラジル、ロシア、中国)

世界を上記3区分し、「株価」比較を行いました。

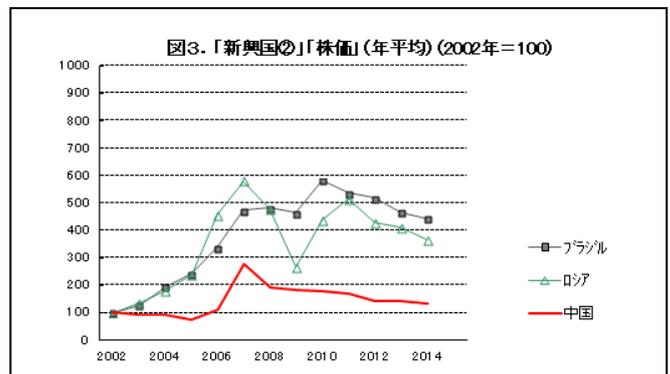
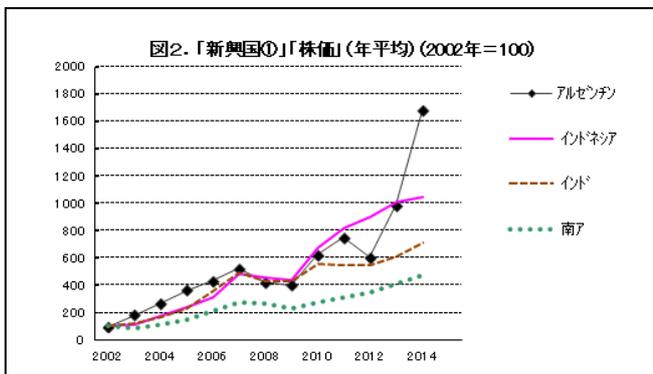
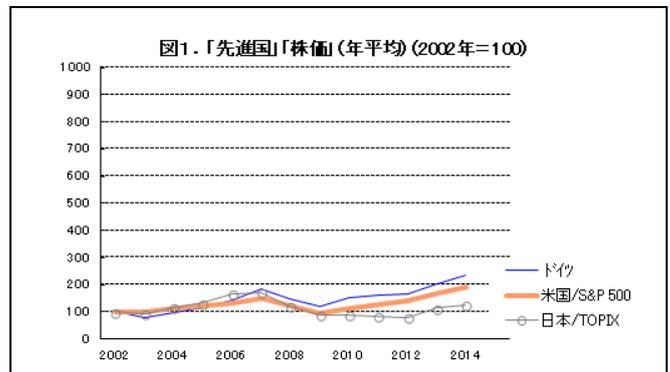
この「株価」は正確には現地通貨ベース株価(＝「名目株価」)です。

上記比較のなかでは、「新興国①」の株価が高くなっています(図2)。

株価好調なこの「新興国①」に「脆弱な新興国」が多く含まれています。

特にアルゼンチンの株高が目立ちます。

問題を抱えるアルゼンチンの株価が、なぜこれほど高いのでしょうか？

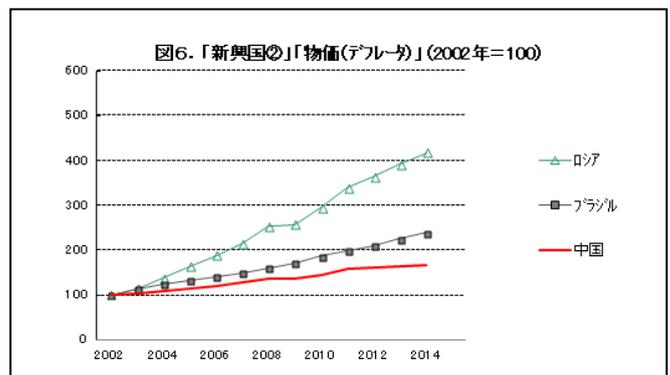
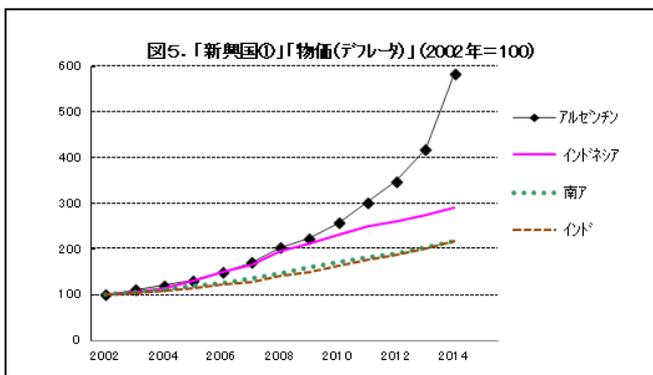
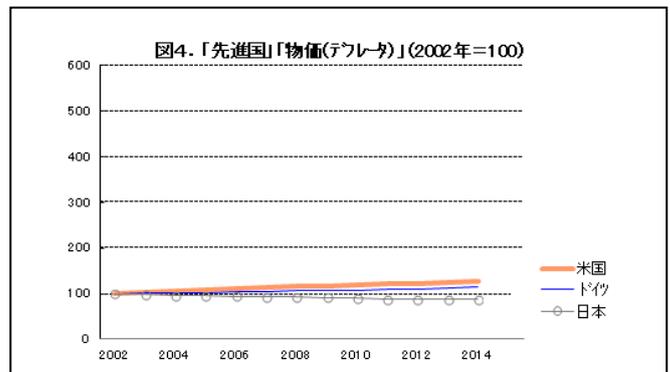


## インフレ対策としての株式投資

アルゼンチンの「株価」が突出して高いのはアルゼンチンの「物価」が突出して高いからです(図5)。

「物価の高い国では株式投資がインフレヘッジになる」という証左です。

(アルゼンチンでは毎年 2 割近くの物価上昇が続いています)



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

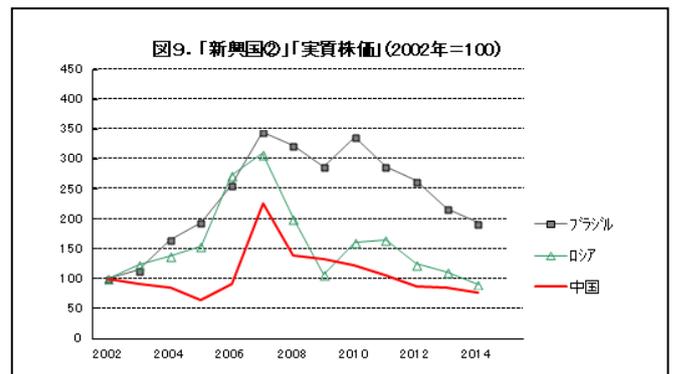
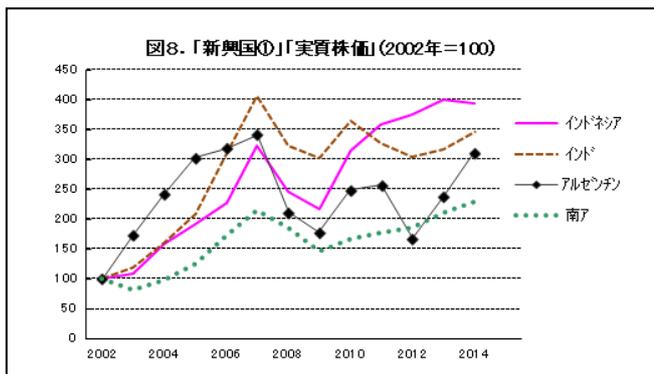
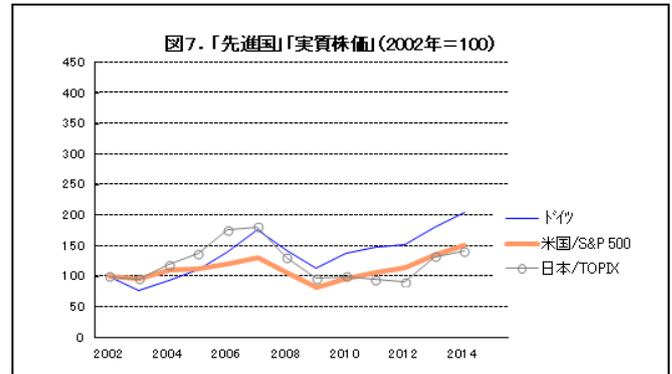
## 物価上昇分を除いた各国の「実質株価」

物価上昇分を除いたもの(目減りを控除したものが「実質株価」です。

高物価のアルゼンチンは大きな目減りを受けることになり、その結果、「実質株価」は低迷してしまいます(図8)。

一方、低物価の先進国は目減りが小さく、「実質株価」は堅調です(図7)。

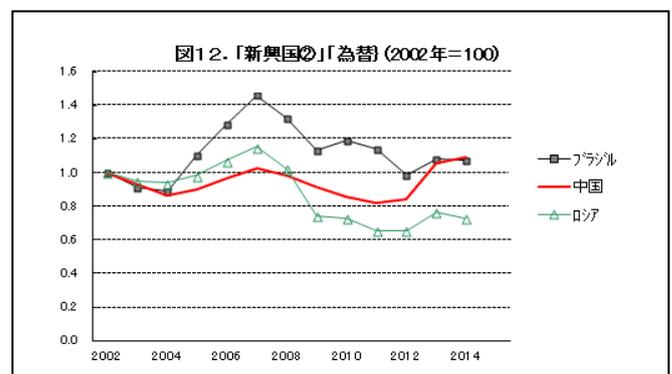
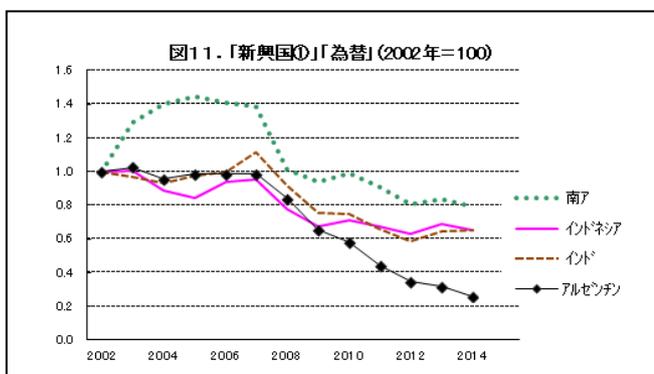
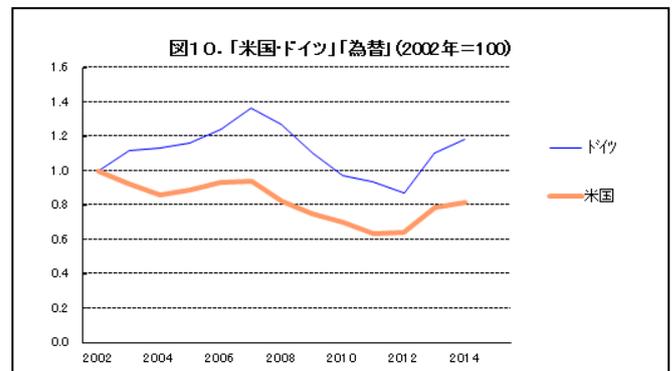
この「実質株価」は各国の投資家が国内株式について実感するものです。  
(日本の投資家にとっては、アルゼンチンなど他国の「実質株価」は無関係です)



## 「為替」と「円ベース株価」

日本の投資家が外国株式に投資して得られるリターンは「為替」によって増減します。

「円高・外国通貨安」の場合・・・為替「差損」が発生  
「円安・外国通貨高」の場合・・・為替「差益」が発生



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

各国の「名目株価(現地通貨ベース株価)」を「円換算」したものが「円ベース株価」です。

日本人投資家にとっては、

- ◆ 通貨の弱いアルゼンチン株式投資はかなり目減りしてしま  
います(図 11、14)。  
(アルゼンチン為替:非公式為替レートを採用)
- ◆ 通貨が比較的強いブラジル株式投資は相対的に高めです  
(図 12、15)。
- ◆ 最近では通貨の強い先進国(米国・ドイツ)投資の方が  
通貨の弱い新興国投資に比べ高いリターンとなっています  
(図 10、13)。

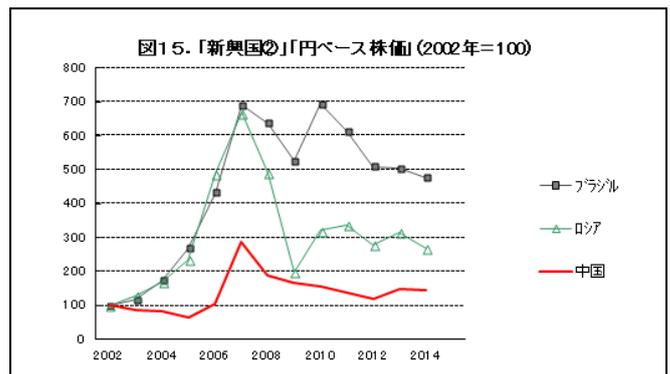
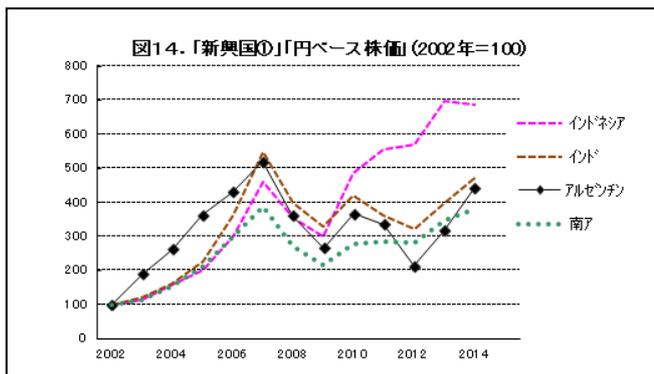
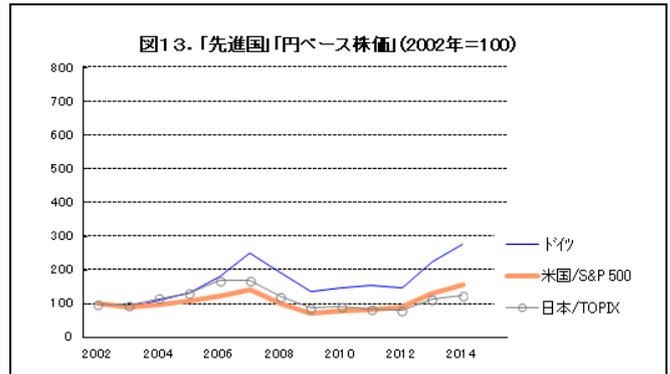


図 1～15 の出所:IMF、各国中央銀行、Yahoo!ホームページ  
数値:暦年平均値

## ユニオンファンドの外国株式投資と「為替ヘッジ」

外国株式投資では「為替」が円高になった場合、評価が目減りすることになりますが、長期投資を行うにはなかでは、「為替」の影響以上に「株価の値上がり益を期待できる」可能性が高いとユニオン投信では考えています。

また、長期的には日本の少子高齢化・財政問題などもあり、「円安が更に進む」可能性が高い(“為替メリット”を享受できる)と考えています。

このため外国株式投資を長期にわたって行うなかでは、「為替ヘッジ」を行わない方が好ましいと考えています。

ユニオンファンドは3ファンド(キャピタルF、ハリスF、コムジェストF)を通して外国株式投資を行っていますが、3ファンドとも「為替ヘッジ」を行っていません。

◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## ■ 運用報告

### ■ ユニオンファンドは、

①「株式」に投資する ②「グローバル」に投資する ③インデックスでなく「アクティブ」に投資する  
ファンドの中から実績を挙げてきた4つのファンドに投資しています(ファンド・オブ・ファンズ)。

### ■ ユニオンファンドはグローバルな成長を平均的・安定的に享受するため、世界の株式時価総額シェアを基準に地域別「目標投資比率」を決め、それに基づいて投資しています。現状では、世界の株式時価総額シェアに比べ、「日本」と「新興国」のウェイトを高めとし、「欧米」を低めとしています。

「日本」 : 低成長市場だが身近な精通した市場  
「新興国」 : 伸び盛りの高成長市場  
「欧米」 : 成熟した低成長市場

### ■ 8月の株式市場は、初旬に下落が続きましたが、その後は一本調子の上昇となりました。

初旬の下落は、ロシアに対する欧米の追加制裁議論が高まったこと、高値警戒感から利益確定売りが増えたことなどが背景です。

その後の上昇は、米国や欧州の中央銀行が超金融緩和「継続」発言を繰り返し市場に安心感を与えたことが大きな要因です。

### ■ 8月の基準価額推移・・・初旬は前月末比2.7%の下落となりました(8/11:19,144円)。その後は上昇が続き、月末は20,078円(前月末比+2.0%)となり、設定来で初の2万円台乗せとなりました。

### ■ 8月も新規組入れ(買い増し)を見送り、月末の組入比率は前月末比1.0%減の「77.5%」となりました。

## ■ 今後の運用方針

### ● 今後の市況見通し

・市場は引き続き下記リスクを内在しています。

米 国:超金融緩和「縮小」、金利「引き上げ」、住宅市場「回復の一服」

欧 州:南欧債務問題の再燃、デフレ懸念

日 本:アベノミクスの息切れ(成長戦略の実効性、財政再建への懸念)

中 国:不動産バブル崩壊懸念、地方政府債務問題の顕在化(影の銀行問題)

ロシア:経済制裁による景気急減速懸念、欧州経済への波及懸念

地政学的リスクの拡大:ウクライナ、イスラエル・パレスチナ、シリア、イラク、リビアなど

・世界をリードする米国市場は高値を更新しました。しかし世界的に紛争が拡大するなかで高値警戒感には更に強まっています。利益確定売りの出易い神経質な展開を引き続き予想しています。

### ● 目標組入比率

現在の「目標組入比率:70~100%」を維持します。

株価が大幅に下落する局面では買い増しを行い、実際の組入比率を引き上げる方針です。

### ● 地域別目標投資比率

現在の「地域別目標投資比率」を維持します。

・・・日本:12%、欧米:41%、新興国:47%

### ● ファンド選定

当面、現在の4つのファンドに投資していきます。

### ● ファンド別目標投資比率

現在の「ファンド別目標投資比率」を維持します。

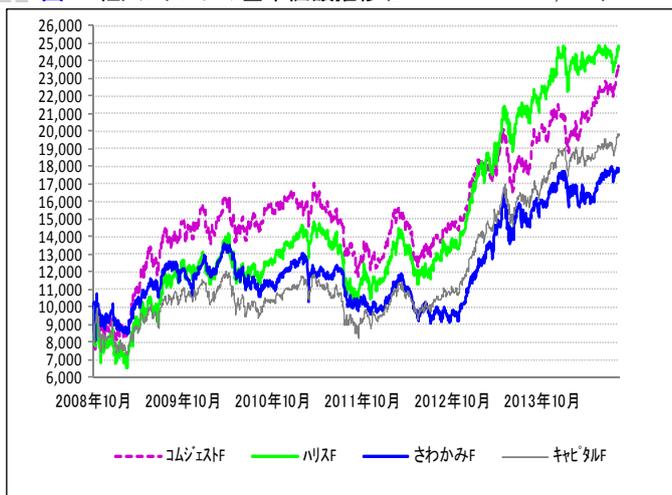
・・・「さわかみF」:12%、「キャピタルF」:18%、「ハリスF」:23%、「コムジェストF」:47%

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# 「ユニオンファンド概況」補足コメント

■ 図1 組入ファンドの基準価額推移(2008. 10. 20=10,000)



>> 図1 基準価額推移

今月は「コムジェストF」が相対的に上昇。  
8月1ヵ月間の騰落率は次の通り。  
・・・「ハリスF: +2.1%」、「コムジェストF: +4.6%」  
「キャピタルF: +1.9%」、「さわかみF: ▲1.4%」

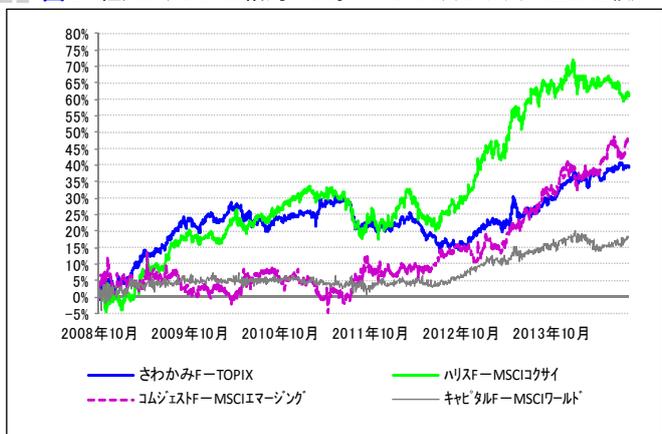
>> 図2 相対パフォーマンス

4ファンドともインデックスを上回るパフォーマンス。  
「ハリスF」……………設定来 62%凌駕  
「コムジェストF」…同 48%凌駕  
「さわかみF」……同 39%凌駕  
「キャピタルF」……同 18%凌駕

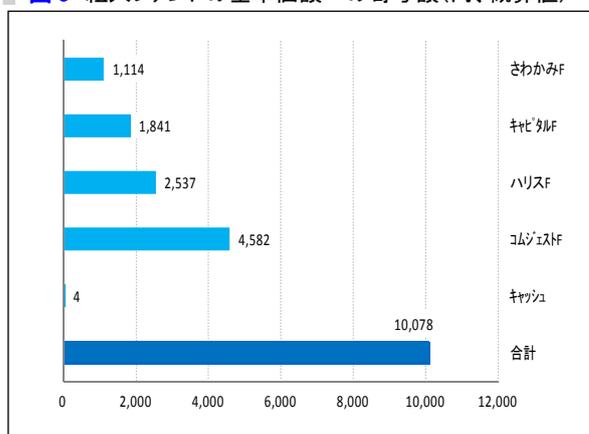
>> 図3 寄与額

8月末の基準価額が20,078円となっていることから、10,078円の評価益に。月末時点の寄与額内訳は第3図の通り。

■ 図2 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)



■ 図3 組入ファンドの基準価額への寄与額(円、概算値)



>> 図4 時価総額シェア・目標投資比率

「時価総額シェア」・・・

新興国: 最近、低迷から底打ち反転の気配

欧 米: 最近、低下気味

日 本: 最近、やや上昇

「地域別目標投資比率」・・・

日 本: 12% (シェア比+ 5%)

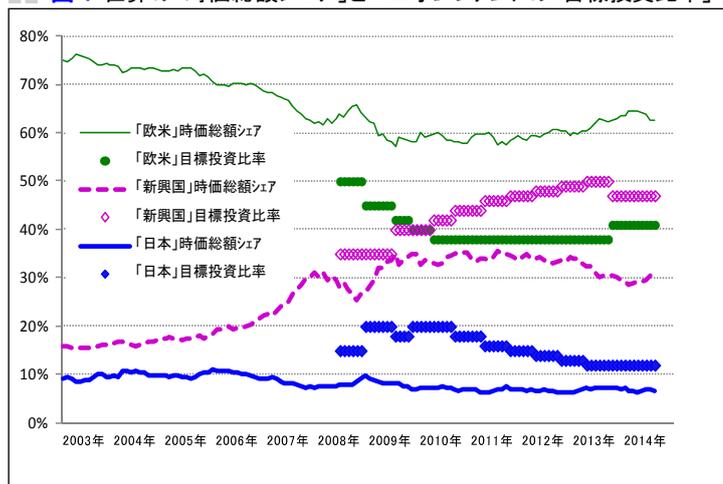
欧 米: 41% (シェア比▲21%)

新興国: 47% (シェア比+16%)



運用部長 (ファンドマネージャー)  
坂爪 久男

■ 図4 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所)「時価総額シェア」: ユニオン投信株式会社調べ

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## 組入れ4ファンドの状況

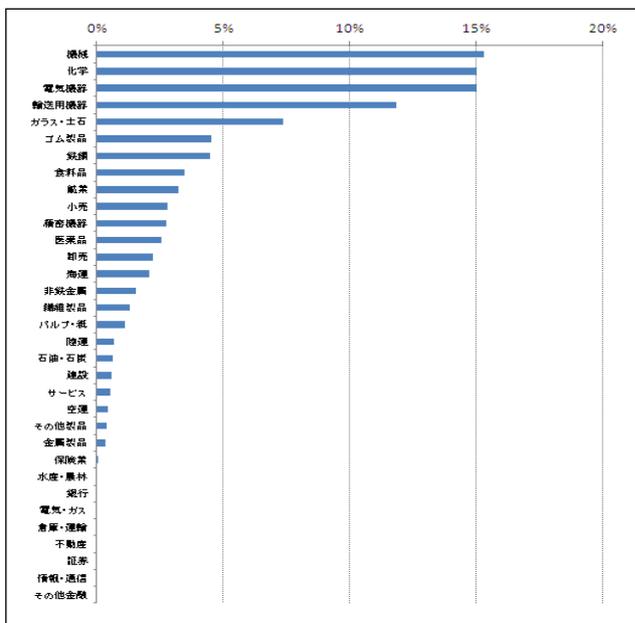
### さわかみF（さわかみファンド）

#### 株式組入上位10銘柄等

2014年8月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	トヨタ自動車	5.2%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
2	ブリヂストン	4.4%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3	国際石油開発帝石	3.1%	日本	鉱業	石油メジャー
4	花王	3.0%	日本	化学	トイレタリー首位
5	日本特殊陶業	2.9%	日本	ガラス・土石	プラグ・センサー世界首位
6	ダイキン	2.8%	日本	機械	エアコン世界首位
7	三菱重工	2.7%	日本	機械	世界的総合重機メーカー
8	日本電産	2.5%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
9	デンソー	2.4%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
10	パナソニック	2.2%	日本	電気機器	総合家電大手
上位10銘柄		31.1%			
その他107銘柄		65.1%			
キャッシュ		3.8%			

#### 業種別構成比



業種：東証33業種

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

#### >> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。  
組入銘柄数はピークの約1/3まで絞り込み。
- ◆ポートフォリオの特徴は、
  - (1) 「機械」「化学」「電気機器」「輸送用機器」「ガラス・土石」「ゴム」「鉄鋼」など“ものづくり”，“輸出型”企業の比率大。
  - (2) “内需型”企業では「金融」「通信」「不動産」「倉庫」「公益」などの比率を抑え、「食料品」「小売」「医薬品」など“生活関連”にシフト。
- ◆8月は10銘柄強の売却。買付はなし。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## ■ キャピタルF (キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA)

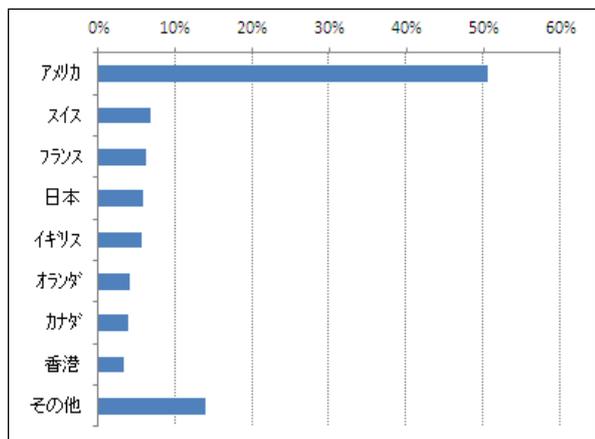
### ■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

2014 年 7 月末現在

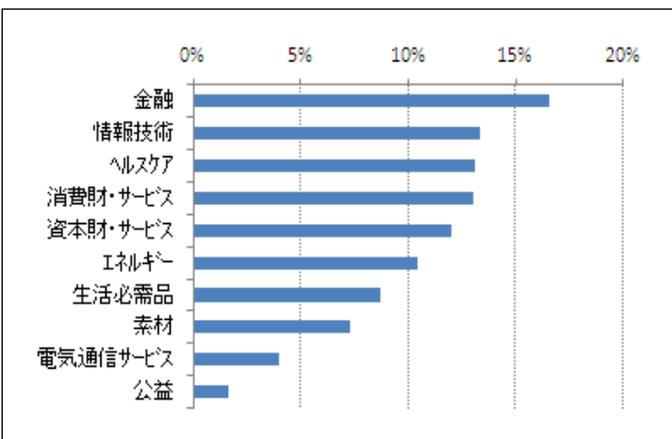
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Gilead Sciences	4.1%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バイオ
2	Goldman Sachs	2.4%	アメリカ	金融	世界最大の投資銀行
3	Roche	2.4%	スイス	ヘルスケア	医薬品バイオ
4	Chevron	2.2%	アメリカ	エネルギー	石油スーパーマジャー
5	Google	2.1%	アメリカ	情報技術	ネット検索世界一
6	Novo Nordisk	2.0%	デンマーク	ヘルスケア	医薬品バイオ
7	American Tower	1.6%	アメリカ	金融	携帯基地局リース
8	Pernod Ricard	1.6%	フランス	生活必需品	洋酒大手
9	Unilever	1.5%	オランダ	生活必需品	家庭用品大手
10	AIA	1.4%	香港	金融	生命保険
上位 10 銘柄		21.3%			
その他 152 銘柄		76.4%			
キャッシュ		2.3%			

### ■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

### ■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

### >> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆日本を含む先進国に幅広く投資(150 銘柄程度)。
- ◆インデックスに対し大きな偏りをとらず、長期間の安定的な超過収益を狙うファンド。
- ◆半年前に比べ、景気敏感の「エネルギー」「素材」が増加し、「消費財」「金融」が減少。  
しかし「金融」は組入トップが続く(約 16%)。
- ◆上位組入銘柄は「ヘルスケア(バイオ)」「金融」「生活必需品」などが中心。

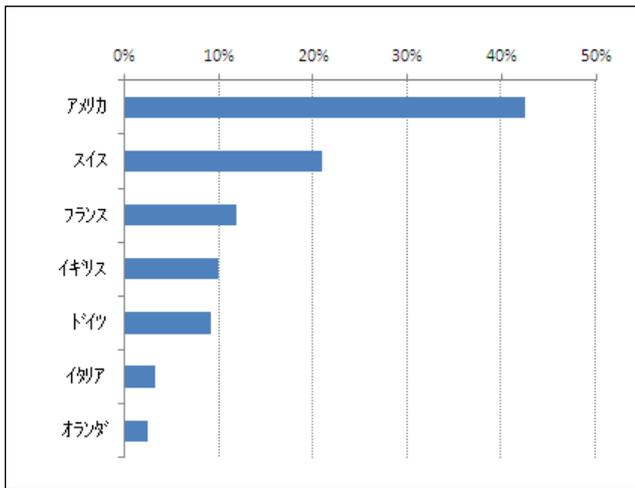
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 グループ 2014 年 7 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	INTEL	4.2%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー
2	GENERAL MOTORS	4.1%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角
3	WELLS FARGO	3.9%	アメリカ	銀行	金融大手
4	JULIUS BAER	3.9%	スイス	各種金融	プライベートバンク
5	ALLIANZ	3.9%	ドイツ	保険	総合保険大手
6	CREDIT SUISSE	3.9%	スイス	各種金融	金融大手
7	BNP PARIBAS	3.9%	フランス	銀行	金融大手
8	DAIMLER	3.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
9	FINANCIERE RICHEMON	3.6%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・コングロマリット
10	EXPERIAN	3.5%	イギリス	商業・専門サービス	信用・マーケティング情報の分析サービス
上位 10 銘柄		38.6%			
その他 28 銘柄		59.3%			
キャッシュ		2.1%			

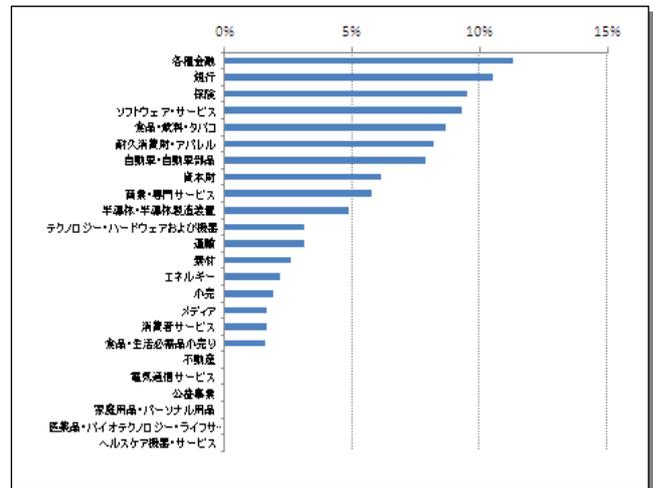
■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)

※2014 年 8 月末現在



業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ  
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安な 40 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。日本除きの世界各国に投資。
- ◆ 「金融」が最大の投資セクター(組入比率: 約 31%)。パフォーマンスへの貢献度は大。業績好調なカード会社や資産運用会社などの比率を高め銘柄選択効果を効かせている。
- ◆ 「金融」以外では、景気敏感セクターの「ソフトウェア」「耐久消費財」「自動車関連」「資本財」「半導体」や安定セクターの「食品」「アパレル」「商業サービス」などのウェイトを高めている。
- ◆ 「株価が目標圏に到達した銘柄の利食い・割安株の買い付け」を活発に行っているが、最近では割高となった「素材」「食品」「半導体」などを引き下げ、割安な「資本財」「耐久消費財」「ソフトサービス」「アパレル」「テクノロジー関連」などを引き上げ。

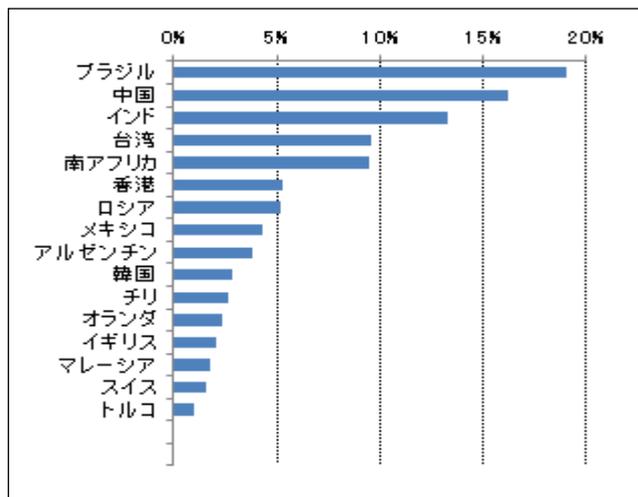
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2014 年 8 月末現在

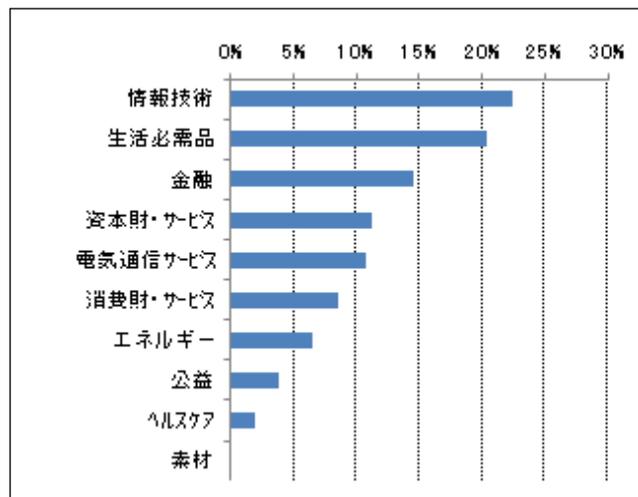
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	6.0%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2	CHINA MOBILE	5.0%	中国	電気通信サービス	携帯電話
3	CHINA LIFE	4.8%	中国	金融	生保
4	SANLAM	4.2%	南ア	金融	資産運用
5	MTN	3.7%	南ア	電気通信サービス	携帯電話
6	TENARIS	3.6%	アルゼンチン	エネルギー	シームレスパイプ大手
7	INFOSYS	3.4%	インド	情報技術	ITソフト総合サービス
8	HUTCHISON WHAMPOA	3.1%	香港	資本財・サービス	コングロマリット(港湾・不動産等)
9	MEDIATEK	3.1%	台湾	情報技術	半導体設計
10	NATURA COSMETICOS	3.0%	ブラジル	生活必需品	化粧品
上位 10 銘柄		40.0%			
その他 29 銘柄		55.1%			
キャッシュ		4.9%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター  
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 質の高い新興国企業 (新興国売上比率の高い先進国企業含む) を 50 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。
- ◆ 類まれな事業基盤を有し長期的高成長が期待できる企業に選別投資。  
銘柄選択基準は、①景気循環の影響を受けにくく予測し易い業績、②健全な財務体質、③的確な情報開示など。
- ◆ 新興国市場の主要セクターは「資源・エネルギー」や「金融関連」に大きく偏っているが (BRICs 諸国では概ね 5~6 割程度)、当ファンドは「情報技術」「生活必需品」「資本財」などに高ウェイト (資源・金融は 1~2 割程度)。  
このため新興国市場が市況高 (資源・原油高) で上昇する場合は追従できないことが多い。  
しかし市況の下落局面では当ファンドは下げ渋ることが多く、長期的な相対パフォーマンスは良好。
- ◆ 最近では、これまでパフォーマンスに大きく貢献してきた「情報技術 (特にインターネット関連)」の一部を利益確定売りし、成長期待の高い「資本財」「消費財」や「金融 (生保)」などにシフト。

◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書 (交付目論見書) の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

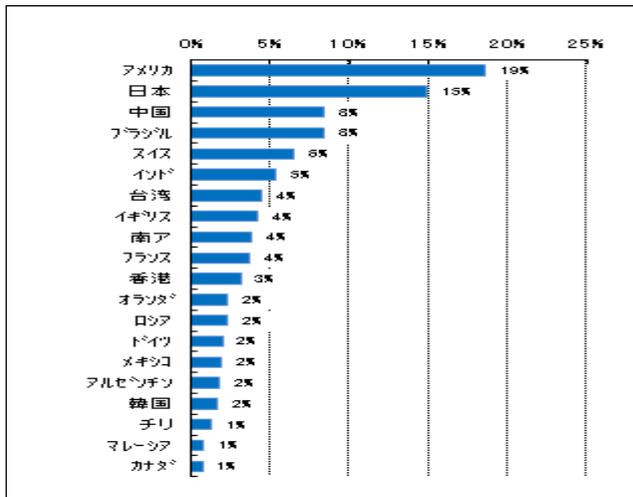
# ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況

## ■株式組入上位 30 銘柄等

2014年7月末現在

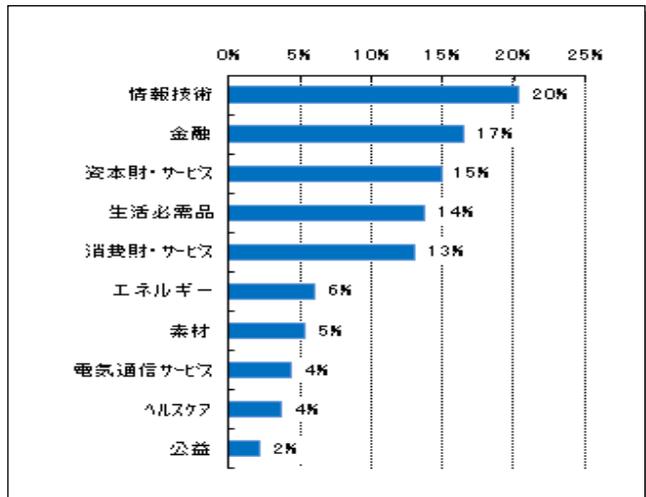
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等	主要組入F
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	2.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー	コムジェストF
2	CHINA LIFE	2.3%	中国	金融	生保	コムジェストF
3	CHINA MOBILE	2.1%	中国	電気通信サービス	携帯電話	コムジェストF
4	SANLAM	1.8%	南ア	金融	資産運用	コムジェストF
5	TENARIS	1.8%	アルゼンチン	エネルギー	シーメンスハイブ大手	コムジェストF
6	HUTCHISON WHAMPOA	1.6%	香港	資本財・サービス	コングロマリット(港湾・不動産等)	コムジェストF
7	INFOSYS	1.5%	インド	情報技術	ITソフト総合サービス	コムジェストF
8	MEDIATEK	1.5%	台湾	情報技術	半導体設計	コムジェストF
9	MTN	1.4%	南ア	電気通信サービス	携帯電話	コムジェストF
10	CIELO	1.4%	ブラジル	情報技術	クレジットカード決済	コムジェストF
11	INTEL	0.9%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー	ハリスF
12	GENERAL MOTORS	0.9%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角	ハリスF
13	WELLS FARGO	0.8%	アメリカ	銀行	金融大手	ハリスF
14	JULIUS BAER	0.8%	スイス	各種金融	プライベートバンク	ハリスF
15	ALLIANZ	0.8%	ドイツ	保険	総合保険大手	ハリスF
16	CREDIT SUISSE	0.8%	スイス	各種金融	金融大手	ハリスF
17	BNP PARIBAS	0.8%	フランス	銀行	金融大手	ハリスF
18	DAIMLER	0.8%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手	ハリスF
19	FINANCIERE RICHEMON	0.8%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・コングロマリット	ハリスF
20	Gilead Sciences	0.8%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バイオ	キャピタルF
21	EXPERIAN	0.8%	イギリス	商業・専門サービス	信用・マーケティング情報の分析サービス	ハリスF
22	トヨタ自動車	0.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手	さわかみF
23	ブリヂストン	0.6%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位	さわかみF
24	Goldman Sachs	0.4%	アメリカ	金融	世界最大の投資銀行	キャピタルF
25	Roche	0.4%	スイス	ヘルスケア	医薬品バイオ	キャピタルF
26	国際石油開発帝石	0.4%	日本	鉱業	石油メジャー	さわかみF
27	Chevron	0.4%	アメリカ	エネルギー	石油スーパーメジャー	キャピタルF
28	日本特殊陶業	0.4%	日本	ガラス・土石	フラグ・センサー世界首位	さわかみF
29	三菱重工	0.4%	日本	機械	世界的総合重機メーカー	さわかみF
30	Google	0.4%	アメリカ	情報技術	ネット検索世界一	キャピタルF
	上位 30 銘柄	31.6%	(注)各組入F開示資料に基づくランキング			
	その他 329 銘柄	46.9%				
	キャッシュ	21.5%				

## ■国別構成比 (上位 20 カ国)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

## ■業種別構成比



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

### >> コメント

- ☆組入銘柄数：359、投資国数：22 カ国。
- ☆組入上位 30 銘柄明細：40 銘柄程度に絞りに絞っている「コムジェストF」「ハリスF」組入銘柄が上位に。
- ☆国別構成比：アメリカが1位で19%、日本が2位で15%、3位以下は中国の8%など新興国が続く。  
主要新興国では中国・ブラジル・インド・南ア・ロシア・メキシコの順。
- ☆業種別構成比：「情報技術」「金融」「資本財」「生活必需品」「消費財」の上位5業種で約8割を占める。  
最近6ヵ月間の業種別動向：「エネルギー」「情報技術」「資本財」が増加し、「消費財」「ヘルスケア」「生活必需品」が減少。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## “新”代表取締役 ごあいさつ

この度、代表取締役に就任しました仲木 威雄(なかき たけお)です。

私は、ユニオンファンドを通じてお客様に“安心”と“希望”を提供し、深い信頼関係をじっくりと築いていきたいと強く思っています。また、社員(家族含む)、取引先、株主、地域等々のすべての関係者が笑顔あふれて健やかに過ごせるよう努めます。そして、共に学び、共に成長していきます。

その為に、どっしりと身の丈に合った経営を行います。資産運用会社である弊社の経営の両輪は、『運用部』と『業務管理部』です。ぶれない運用哲学と明確な運用方針のもと実績を積み重ねること。そして、正確で心のこもったお客様対応を遂行すること。これらをとことん追求します。

一人ひとりが日々の小さな行動を徹底して積み重ねることはもちろんのこと、全員の高い当事者意識のもと、互いを尊重し連携していくチームに磨きをかけます。素直・笑顔・思いやりが基本です。

改めて申しあげますが、ユニオン投信は、「長期投資という資産運用を通じて“働く仲間と家族”の財産づくりを支援し、明るい未来・希望ある社会づくりに貢献しよう」という経営理念を掲げ、立ち上がった資産運用会社です。

そんな弊社の志と夢を形にすべくユニオンファンドは、2008年10月に運用をスタートしました。運用実績のある「アクティブ」ファンドを選び抜き、積極かつゆったり(バイ&ホールド)と運用しています。その際のポイントは3つあります。

- ①『株式』に特化：社会を豊かにする企業の価値に投資する株式ファンドに投資する。
- ②『世界』を視野：世界の経済成長を享受するため世界の企業を視野に投資する。
- ③『長期』で投資：インデックスを上回るアクティブファンドに長期で投資する。

みなさまからお預かりしている大切なお金を、ユニオンファンドは丁寧に丁寧に長期運用しています。現在はゆったり構えておりますが、動くときはアグレッシブにいきます。私たちの考える長期運用を貫き継続していくことで必ずや大きな実りを得ていくと確信しています。

これからも、引き続き弊社及びユニオンファンドとお付き合い頂きますようお願い申しあげます。

### 【“新”代表取締役 仲木 威雄(なかき たけお) プロフィール】

#### ●Profile

信託銀行、保険会社を経てさわかみ投信に入社。同社創業者である澤上篤人氏の鞆持ちとして共に全国を飛び回った後、副社長、取締役を歴任。数々の直販投信会社の立ち上げに関わり、チョコハン仲間のまとめ役でもある。

☆地域経済の発展やスポーツ文化を育むべく、草の根活動にも尽力している。

☆イクメン(注:イ“ケ”メンではありません)、イクボスとしての顔をもち、講演会等に呼ばれる事も多い。

#### ●Comment

人のご縁でここまでやってきました。これからも、人間の可能性を信じ、出会いを大切にしていきます。

消費者・生活者中心の時代がやってきて、意思あるお金の使い方が求められています。

私たちと共に明るい未来・希望ある社会を創っていきましょう。

#### ●好きな言葉

『素直』・『愚直』・『情熱』

『やってみなはれ』 『時間もお金も使い方次第』



ユニオン投信株式会社 代表取締役 仲木 威雄

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## 『ユニオンファンド』のリスク

### － 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。 －

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

## 『ユニオンファンド』の手数料

### － 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続き・手数料等」をご覧ください。 －

【申込手数料】 … お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

【換金手数料】 … ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

【信託報酬】 … 純資産総額に年0.864%（税抜き 年0.8%）の率を乗じて得た額です。

毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。

[実質的な信託報酬\* 信託財産の純資産総額に対して年1.9%±0.3%（概算）]

※『ユニオンファンド』は他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。

【信託財産留保金】 … 信託財産留保金はありません。

【その他の費用】 … 『ユニオンファンド』に組み入れるファンドを売買する際に発生する売買手数料およびこれにかかる消費税に相当する額は投資信託財産より控除されます。

※実際の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## ◆ 業務管理部よりお知らせ ◆

### ◆ ご住所の変更をされるお客様へ ◆

弊社ではお客様のご登録情報に変更がある場合、各種変更用紙をご提出いただいております。

ご転居等で現在の登録住所を変更される方は、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までお電話にて変更用紙をご請求いただくか、弊社ホームページの「各種変更手続き」ページ「登録情報変更用紙請求」フォームにて承っておりますので、ご連絡をお願いいたします。

用紙が届きましたら、**新住所が証明できるご本人確認書類を添付の上**、弊社までご提出ください。

#### 【ご注意ください】

- ・変更のご連絡がない間の弊社におけるお取扱いは、すべて旧住所でのご案内となってしまいます。
- ・海外へ転勤・移住等される場合は、お客様によって手続方法が異なりますので、**必ず出国される前に弊社業務管理部までお電話ください。**

### ◆ 月次レポート受取方法について ◆

**【受取方法:「E-mail」または「不要(弊社 HP で直接閲覧)」のご選択にご協力ください。】**

現在月次レポートを「郵送」でお受取りのお客様で、インターネット・E-mail をご利用いただける環境がお手元になりましたら、“受取方法を「E-mail」へ変更”にご協力方お願い申し上げます。

月次レポートは弊社お客様への配信後、一般公開として弊社 HP にも掲載しておりますので、レポート「不要」をご選択いただきましても弊社 HP へアクセスいただければ、いつでもご覧いただくことができます。

ご変更にご協力いただける場合は、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までご連絡いただくか、弊社ホームページ( <http://www.unionam.co.jp/> )の「各種変更手続き」ページより、変更手続きをお願いいたします。

E-mail や弊社 HP でのレポートは「カラー」のため、ファンド概況やグラフ等鮮明に見ることができます。

**エコの観点から印刷紙の削減を目標としております。どうぞご理解ご協力のほど、宜しくお願いいたします。**

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。